

タイトル (活動概要)	58 さわやかな言葉のかけ方	アプローチ (関連する力)	「自分づくり」① 「仲間づくり」⑤ ⑮ 「集団づくり」⑰		
タイミング (実施時期)	人間関係が深まってから	活動 場所	教室	所用 時間	90分
対象学年	幼・小低・ 小中 ・ 小高 中1・中2・中3・高	対象 規模	学級	活動 場面	国語・道徳
活動の ねらい	<p><背景> 仲間集団の中で、自分や友達のコミュニケーションの方法について見直す機会や経験が少ない</p> <p>・3つの話し方のタイプについて知り、それぞれを体験し、さわやかな伝え方を考えることで、日頃の自分や友達の話し方に気づく</p>				
準備	・ロールプレイングで使うシナリオのプリント ・ワークシート①②				
学習・活動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入 ・言葉のかけ方によって、聞き手の感じ方が変わることがあることについて知る		・最初に教師がシナリオを読み聞かせる		シナリオ	
2 主活動 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3つの伝え方の違いを感じてみよう</div>					
○2人組でシナリオのロールプレイングをする ・Aさん、Bさん、Cさんを一通り終えたら役割交代をして、同様に繰り返す ・伝え方の違いによる受け取り方の違いを感じ取り、ワークシート①に記入する ・伝え方の違いについて話し合う		・3つの伝え方の違いが出るように少しオーバーに話すよう伝える ・A、B、Cの伝え方に名前をつけてもよい		ワークシート①	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">さわやかな言葉のかけ方を意識して使ってみよう</div>					
○ワークシート②に、台詞を考えて書き込む ○書いた台詞でロールプレイングをする		・3つの伝え方のうち、最もふさわしい伝え方を意識する ・これまでの自分の伝え方についての気づきがあった場合は、賞賛する		ワークシート②	
3 ふり返り ・今日の活動で気づいたこと、感じたことを話し合う					
配慮事項	・児童の実態に合わせて、ロールプレイングのシナリオや場面設定など工夫する ・演技であることをしっかりと確認し、児童の様子を見ながら進める ・演技をためらう児童には強要しないで楽しく参加できるように配慮する ・児童の実態にあわせて、2回に分けた方が効果的な場合もある				

参考；園田雅代、中釜洋子著 「子どものためのアサーション（グループワーク）－自分も相手も大切にする学級づくり－」（日本精神技術研究所 2000年）

ロールプレイング（シナリオ）

〈場面〉となりのクラスの友だちに貸していた体操着を返してもらいました。でも、絵の具がついていて、なんだかとてもよごれてしまっています。

Aさん

相手役
Aさん 「体操着、ありがとう！はい、これ。」と言って、紙袋に入った体操着を手渡す。
「うん いいよ」と、「ありがとう」と言われて）うれしそうに受け取る。
袋のなかの絵の具で汚れた体操服を見て
Aさん 「あれ！これ、どうしたの？・・・今日の・・・。」と、（今日の体育の時間、はずかしくって着られないなと思い）、とても悲しそうにつぶやく。
相手役 「なに・・・、どうしたの？」
Aさん 無言でじいっと下を向いてしまう。
相手役 「何かあったの？」
Aさん 「そうじゃないけど。でも・・・」
相手役 「でも・・・？ どうしたの？」
Aさん 「この絵の・・・、ごめん！ 何でもない。」
相手役 「えの・・・ってなに？ 何でもないなんて、なんだよ・・・。言いたいことがあるなら、はっきりいってよ。友だちなんだから・・・。」（と不機嫌そうに言う）
Aさん 「本当に何でもないんだから。」（何でもないと思えないような言い方で）

Bさん

相手役
Bさん 「体操着、ありがとう！はい、これ。」と言って、紙袋に入った体操着を手渡す。
「うん いいよ」と、「ありがとう」と言われて）うれしそうに受け取る。
袋から絵の具で汚れた体操服を取り出して
Bさん 「なんなの、この絵の具は？ じょうだんじゃないよ・・・」と相手をにらみつける
相手役 「あれ、本当だ。いったいどうしたんだろう。」
Bさん 「絶対、許さないからね。あなたなんかもう、友だちじゃないからね！ あなたなんかにもう二度と何にも貸してあげないからね。あなたがやったんだから、この体操服、何とかしてよね。」

Cさん

相手役
Cさん 「体操着、ありがとう！はい、これ。」と言って、紙袋に入った体操着を手渡す。
「うん いいよ」と、「ありがとう」と言われて）うれしそうに受け取る。
袋のなかの絵の具で汚れた体操服を見て
Cさん 「あれっ・・・これ、どうしたんだろう？」
相手役 袋のなかの絵の具で汚れた体操服をのぞきこんで
「あれ、本当だ。いったいどうしたんだろう。」
Cさん 「わたし（ぼく）の体操着、こんなふうに汚くなっていないかと思うんだけど、どうしたのかな？」
相手役 「あれ・・・。どうして汚れちゃったのかな？」
Cさん 「別にあなたを責めているわけじゃないんだけど、いつこんなに汚れがついたのか気になるんだ。なにか、覚えている？」
相手役 「どうだったかなあ。もし自分でも気づかないうちに汚していたんだとしたらごめんね。もう一度、洗って返すから」
Cさん 「いいんだ。ちょっと気になっただけだから。」

さわやかな言葉のかけ方（ワークシート①）

～ロールプレイングをふり返って～

○3人の話し方のちがいは、どんなところですか？

A さんの話し方

B さんの話し方

C さんの話し方

○話し方のちがいについて感じたこと

さわやかな言葉のかけ方（ワークシート②）

年 組 名前

<場面>

家でのことです。あなたは早く宿題をやり終えて、友だちと約束している公園に行きたいのに、一緒に遊んでほしいと思っている弟が、まわりで騒いで勉強のじゃまをしています。そんな弟にはらがたって、「静かにするように」言いました。そうすると、今度は、テレビの音を大きくしてビデオを見始めました。ますます、ビデオの音が気になって勉強できません。

ねえ、ちょっとでいいから一緒に遊んで・・・。
ひとりで遊んでもつまないもん・・・。



わたしは（ぼくは）

